

美川っ子

R3. 12. 23 文責 大達高弘

2学期の終業にあたって…

明日の終業式をもって、82日間の2学期が終了します。学校の1年のうちで最も長い2学期。じっとしていても汗が出る暑さの中で行った始業式から季節は巡り、気がつけば寒さに身を震わせる冬になっていました。過ぎてしまえばあっという間の2学期だったように思いますが、過ぎ去った時間の中で、77人の子どもたちは一日一日を大切に過ごしなが、きらきら輝く姿をたくさん見せてくれました。本当に充実した2学期になりました。これも、日々の教育活動の充実のために温かいご理解とご支援をくださった保護者・地域の皆様のお力添えのおかげです。ありがとうございました。

始業式で子どもたちに話した2学期のテーマ【本気】を合言葉にして、この2学期を過ごしてきました。全校で取り組んだ幼小中合同運動会、学習の成果発表、マラソン記録会はもちろん、3～6年生が練習の成果を披露した体操演技発表会、3・4年が心を合わせて作り上げた音楽発表会など、子どもたちは努力の成果を遺憾なく発揮し、一人一人がしっかりと【本気】を見せてくれました。その姿は、見ている者に感動を与え、そして何よりもきらきらと輝いていました。まさに、この2学期も【み・か・わ みんなが かがやく わたしたちの学校】でした。

子どもたちの頑張りや成長につきまして、保護者や地域の皆様方から、「いろいろなことに一生懸命に取り組んでいる」「挨拶をよくするようになった」「登下校の仕方がよくなった」「学校が明るくなった」など、たくさんのお褒めのお言葉をいただきました。日頃から子どもたちのことをしっかりと見ていただいているからこそ、子どもたちの頑張りや成長に気付いていただけるのだと思います。また、温かいプラスの言葉かけを常にしてくださるからこそ、子どもたちは自信をもち、頑張り続けることができたのだと思うのです。保護者や地域の皆様方の大きくて、温かい愛情に包まれ、子どもたちはしっかりと成長したように感じます。一言では言い尽くせませんが、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

もちろんすべてがいいわけではなく、まだまだ課題もあります。それについては、冬季休業を活用して、今後の指導の在り方について検討し3学期の指導に生かしていきます。よくなりたい、伸びたい、もっとできるようになりたいという、子どもたちが本来持っている成長欲求に学校としてしっかりと応えていきたいと考えます。

新型コロナウイルスの大流行、東京オリンピックの開催と歴史的にも大きな出来事があった2021年でしたが、こうして2学期の終わりという節目を、77人の子どもたちが健康で、元気に迎えられたことが、学校としましては何よりの幸せです。

保護者、地域の皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

写真で振り返る「美川っ子の2学期」

77人の美川っ子は、ほんとに素直で明るく、何にでも一生懸命に取り組むことができるよさをもっています。どの写真からも、それを感じていただけたと思います。自分達で掲げた児童会のめあて【何でもチャレンジ・誰にも優しい美川っ子】の実現に向けて頑張り続けた77人は学校の、そして美川のきらきら輝く宝物です。



運動会：100m走 全力を尽くす



運動会：鼓笛演奏 心をひとつに



スケッチ会：本気で向き合う



国語：タブレット端末を使いこなす



稲刈り：働くことの尊さを知る



体操演技発表会：努力の成果を発揮する



総合的な学習の時間：美川をきれいに



音楽発表会：本気・笑顔・協力



学習の成果発表：チャレンジ



マラソン記録会：目標に向かって



給食：浜田ののどぐろを食す



しめ縄作り交流会：伝統を受け継ぐ

マラソン記録会



11月26日(金)、今年度2回目のマラソン記録会がありました。このマラソン記録会は美川小学校の伝統であり、以前私が勤務していた頃にも体育活動として取り組んでいました。当時は、小学生だけでの実施でしたが、数年前から、2回目のマラソン記録会に第四中学校の生徒のみなさんが参加し、小学生の伴走をしたり、声援を送ったりしてくれる小中連携、小中交流の場になっているとのことでした。

私は、今年度、初めてその様子を目にしました。驚きました。そして感動しました。小学生が自分の目標に向かって本気で走る姿はもちろんのこと、中学生が小学生のために苦しい長距離を額に汗しながら一緒に走る姿、手をたたいて大きな声で励ます姿は、「美しい」という表現がぴったりくるものでした。

小学生にとって中学生は憧れの存在です。身近に、こんなに素敵なロールモデルとなる中学生がいて、一緒に活動できたり、頑張る姿を見ることができたりすることは、小学生の子どもたちの成長にとって大きな意味があると思います。充実した小中連携の取組というだけでなく、キャリア教育の視点からも大変有意義な活動になりました。

第四中学校の生徒のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。第四中学校の生徒のみなさんは本当にかっこよかったです。



みかわ人権集会

12月4日から始まった人権週間、12月10日の世界人権デーに合わせ、美川小学校でも、12月8日(水)に「みんな なゆよし むくわく集会(美川っ子人権集会)」がありました。

はじめの挨拶のあと、全校で美川小学校人権宣言を読み上げました。次に浜田人権擁護委員協議会主催の管内小学生人権標語コンテストで入選となった松下翔清さんが自身の標語を紹介しみんなで復唱しました。

ぼくたちは
一人ではない
助け合おう
6年



その後、「みんないちばん」という人権ビデオを視聴し、みんなで感想を伝え合いました。感想の中で、「私たちにもみんなそれぞれいいところがある。それを信じて、みんなで力を合わせて生活していきたい」と発表してくれた子どもがいて、心に響きました。この集会を通して、一人一人が大切な存在であること、みんなそれぞれによさをもっていることを、子どもたちは感じることはできたのではないかと思います。

学校だけではなく、社会はたくさんの人で構成されています。そして、誰にも必ずそれぞれのよさがあります。そのよさに気づいたり、見つけたりするためには、曇りない心の目が必要になります。子どもたちだけではなく、私たち大人も、自分の心の目を磨き続け、自分も含めたすべての人のよさに気づき、認め、感謝できるようにしていきたいと思います。

しめ縄作り交流会

12月17日(金)、幼小中合同のしめ縄作り交流会が、第四中学校の体育館で開催されました。美川小学校からは高学年が参加し、幼稚園児や中学生、たくさんの地域の方と交流しながら、しめ縄作りに挑戦しました。この交流会は、美川地区のよさが詰まった素晴らしい活動です。伝統の継承はもちろんのこと、世代を超えた心の交流が図れるという点が、なによりも素敵だと思います。この交流会のために材料等の準備をはじめ、指導のための研修など、多くの地域の皆様にご尽力・ご協力いただきました。見えるところ、見えないところで本当はたくさんの方々を支えられ、子どもたちは素晴らしい経験をさせていただきました。子どもたちは、作製したしめ縄を嬉しそうに、大事そうに持ち帰りました。おかげさまで、素晴らしいお正月を迎えることができそうです。地域の皆様、本当にありがとうございました。



1月の主な行事

- 1日(土) 元旦 ※1日~3日までは学校閉庁日
- 11日(火) 3学期始業式・給食開始(13:30 下校)
- 13日(木) 外国語(ALT)
- 14日(金) 全校テスト(国) 書初め会 委員会⑥
- 18日(火) 6年生:卒業写真撮影
- 19日(水) 避難訓練
授業公開日・学級懇談会(2・4・6年)
- 20日(木) 外国語(支援員) SC来校日
校外学習(たんぼぼ:扇原茶園)
- 21日(金) クラブ⑥
- 25日(火) ラブック号
- 27日(木) 外国語(ALT)
- 28日(金) 委員会⑥
- 31日(月) 全校テスト(算)

